

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1342
施設名	国立クムクム保育園
施設所在地	東京都国立市中2丁目18-2
法人名	社会福祉法人聖光会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

絵本を通した遊びの広がり

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
遊びの中で「ころがる」「ころがす」動きを好んでいたため、それらの動きの入った内容の絵本「おむすびころりん」を読むようになると、絵本の世界を通して「ころがる」「ころがす」遊びを楽しむようになった。さらに遊びが豊かになるように設定した。

2. 活動スケジュール

活動期間(令和6年5月～令和7年3月)

- ・「ころがす」「ころがる」動きの玩具を用意したり、転がりやすい環境を設定する。
- ・運動遊びを行う。
- ・給食で保育者がおにぎりを握って提供する。
- ・クッキング保育でおにぎり作りを行う。
- ・運動会でおむすびころりんをテーマにした競技、おにぎりのリズムダンスを行う。
- ・ビー玉を転がす製作を行う。
- ・こま遊びを行う。
- ・保護者と一緒に運動遊びで転がる動作を楽しむ。
- ・おむすびころりんごっこを楽しむ。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・壁に廃材を利用した転がるレールを貼った。
- ・フープやタイヤなど輪になっている道具を用意した。
- ・絵本「おむすびころりん」を用意しておいた。
- ・運動会のメダルを特別感のあるリボンを使用し、折り紙で小槌を折って渡した。
- ・ままごと道具にフェルトで作ったおにぎりを追加した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

子どもたちの好む「ころがる」「ころがす」動きに添って遊んでいく中で、「おむすびころりん」の絵本を読み始めると、絵本の中に出てくる言葉で言葉遊びをしたり、絵本の世界をごっこ遊びで再現するようになった。毎日のように繰り返し絵本を読んでいくと、クラスの共通話題になっていった。運動会の競技では絵本「おむすびころりん」をイメージして、おにぎりを転がしたり、おにぎりがテーマの音楽でリズムダンスを楽しんだ。

また、コマ回しにも興味が広がり、友だちと一緒にコマを回して遊びを楽しんでいった。人間関係が広がっていくと、ごっこ遊びのイメージも広がり、保育者や友だちと一緒にままごと遊びが発展したり、絵本「おむすびころりん」の表現遊びも行なって楽しんだ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

○廃材で作ったレールを壁に付けておくと、子ども達がレールに気づき、転がる玩具を持ってきて転がして遊びだした。その様子を見て、保育者がレールのそばに絵本「おむすびころりん」の絵を貼っておくと、「おむすびころりんすつとんとん！」と言って絵本の世界を楽しみながら転がして遊ぶ姿が見られるようになった。子ども達や保育者が遊びを通して絵本の世界を共有し、転がす遊びを楽しんだ。

○園庭遊びの際にタイヤを用意しておくと、タイヤを転がして遊ぶ姿が見られるようになった。友だちにぶつかったり、タイヤが倒れないように転がすことに苦労していた様子だったが、力加減を習得しながら転がす動作を夢中になって楽しんだ。絵本「おむすびころりん」を繰り返し読むようになると、「おむすびころりんすつとんとん！」と言い、絵本をイメージしながら楽しむようになった。

○運動会では競技内容に絵本「おむすびころりん」の要素を取り入れ、フープを転がしたり、トンネルくぐりを行った。競技の最後には子ども達が興味をもっていた「小槌」がデザインされた特別なメダルを渡すと、大喜びする姿が見られた。子ども達と保護者、保育者が喜びを共有する特別楽しい活動となった。また、「おにぎりパラダイス」という音楽に合わせてダンスを行い、親子で体を動かす機会となった。

○コマ回しでは、正月遊びをきっかけに手で回すコマが大流行したため、コマの数を増やして準備し一人一人がじっくり楽しめるようにした。また、子ども達の様子を見て、保育者が紐で回すコマ回しを見せたり、中国コマを回して見せたりすると、さらにコマ回しが盛んになった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子ども達の様子をよく観察することで、一人一人の興味関心やしたい動きが見えてくることに気づきました。子ども達の様子に添って玩具や環境を準備していくとさらに遊びが広がっていきました。イメージを広げながら夢中になって遊ぶことが豊かな感性を育み、心と体を成長させることに繋がると感じました。また、毎日を共に過ごす子ども達と保育者の深い関わりがあるからこそ、楽しさや共通話題を共有することができるのだと思いました。